

反ヘイトスピーチ・プロジェクト、始動

Anti Hatespeech Projects Start

ARIC 設立記念シンポジウム

# ヘイトスピーチ被害の実態把握に向けて ——日本のレイシズムをどう「見える」ようにするのか

How to reveal Racism in Japan?

2015.5.10 SUN

日 時：2015年5月10（日）13時30分～16時（13時20分開場）

場 所：下北沢タウンホール集会室1・2

参加費：1000円（一般）、500円（学生）

主 催：反レイシズム情報センター（ARIC）

## プログラム

第一部 講演1：在日コリアン青年に関する差別実態調査の歴史と現在——社会学の見地から 金明秀

講演2：欧米先進諸国におけるレイシズムの実態把握の現状——法制度との関連から 明戸隆浩

第二部 発 題：日本のヘイトスピーチ問題の深刻さ——在日コリアン青年の被害から 梁英聖

パネルディスカッション

ARIC

Anti Racism Information Center

お問合せ：反レイシズム情報センター [contact@antiracism-info.com](mailto:contact@antiracism-info.com) <http://antiracism-info.com/>

# How to reveal Racism in Japan?

2013年にヘイトスピーチが大きな社会問題として注目を浴びてから、2年が経とうとしています。「朝鮮人を殺せ」など白昼公然と叫ぶ異常なヘイトスピーチには多くの批判が寄せられ、レイシズム（民族差別）への法規制を求める声も高まっています。

しかし日本政府は、立法が必要なほど「人種差別思想の流布や人種差別の煽動が行われている状況にあるとは考えていない」（2013年1月）という立場を未だ崩していません。この見解が事実と反することは、2014年夏に2つの国連勧告が出されたことから明らかです。しかしより深刻な問題は、日本政府が一度も公式にレイシズムの実態を調査をしないまま「差別はない」としている点です。

レイシズム禁止法はぜひとも必要です。そのためにはまず差別の実態が調査され、それが広く公表されなければいけません。

反レイシズム情報センターでは基本的な活動として在日コリアンへの差別実態調査を行います。今回のシンポジウムでは研究者の方々をお招きして、差別実態を明らかにする意義を議論する場にしたいと思います。



## 講演者プロフィール

金明秀（きむ・みよんす）

関西学院大学社会学部教授。専門は計量社会学。テーマはナショナリズム、エスニシティ、階層など。1968年生まれ。著書に『在日韓国人青年の生活と意識』（東京大学出版会）、他がある。在日コリアンについてのウェブサイト「ハン・ワールド」を主催。

明戸隆浩（あけど・たかひろ）

関東学院大学ほか非常勤講師。専門は社会学・多文化社会論。1976年生まれ。著書に『ナショナリズムとトランスナショナリズム』（法政大学出版局、共著）、翻訳にエリック・ブライシュ著『ヘイトスピーチ表現の自由はどこまで認められるか』（明石書店、共訳）など。

## 会場案内図



北沢タウンホール（北沢区民会館）集会室1・2  
〒155-8666 東京都世田谷区北沢 2-8-18  
小田急線・井の頭線「下北沢駅」南口から徒歩4分

## 反レイシズム情報センター（ARIC）とは

私たちは、頻発するヘイトスピーチと増大する日本のレイシズムをなくすことを目指して、若手研究者・NGO活動家・学生が力を合わせて発足した団体です。ヘイトスピーチをはじめとした差別についての調査、相談、教育の3つを事業の柱として活動に取り組めます。

### 被害実態調査

ヘイトスピーチ・レイシズムの被害について調査・研究を行い、解決策を議論・提案し、情報発信します。

### ヘイトスピーチ被害相談

ヘイトスピーチをはじめとした差別についての相談窓口を開設し、当事者にとって必要な解決策を探ります。

### 反ヘイトスピーチ教育

ヘイトスピーチ・レイシズム問題について学ぶための講師派遣、教材・授業づくりなどを行います。

お問合せ：反レイシズム情報センター（ARIC）  
contact@antiracism-info.com  
http://antiracism-info.com/

